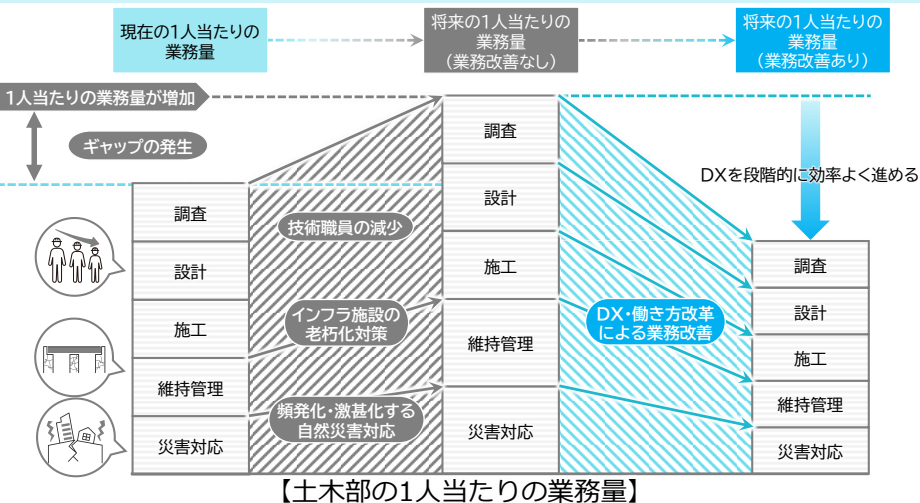


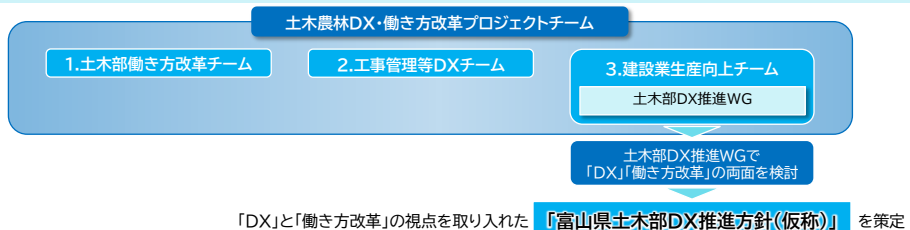
富山県土木部DX推進方針

DX推進方針の概要

趣旨 少子高齢化やインフラの老朽化が急速に進行する中、建設業での担い手不足が深刻化し、また県など地方公共団体でも技術職員が減少しています。その中でも、近年、頻発化・激化する自然災害や急速に老朽化が進行するインフラ施設の維持管理等に対応し、持続可能な土木行政サービスを提供していくためには、DXなどを活用して働き方改革・生産性向上していくことが喫緊の課題となっています。県土木部技術職員が担当する業務は工事の設計積算・監督・公物管理など多岐にわたり、これらの業務でDXを進めるためには、多くの費用と長い時間がかかることから、DXを段階的に効率よく進めていくための指針となる「富山県土木部DX推進方針」を策定しました。

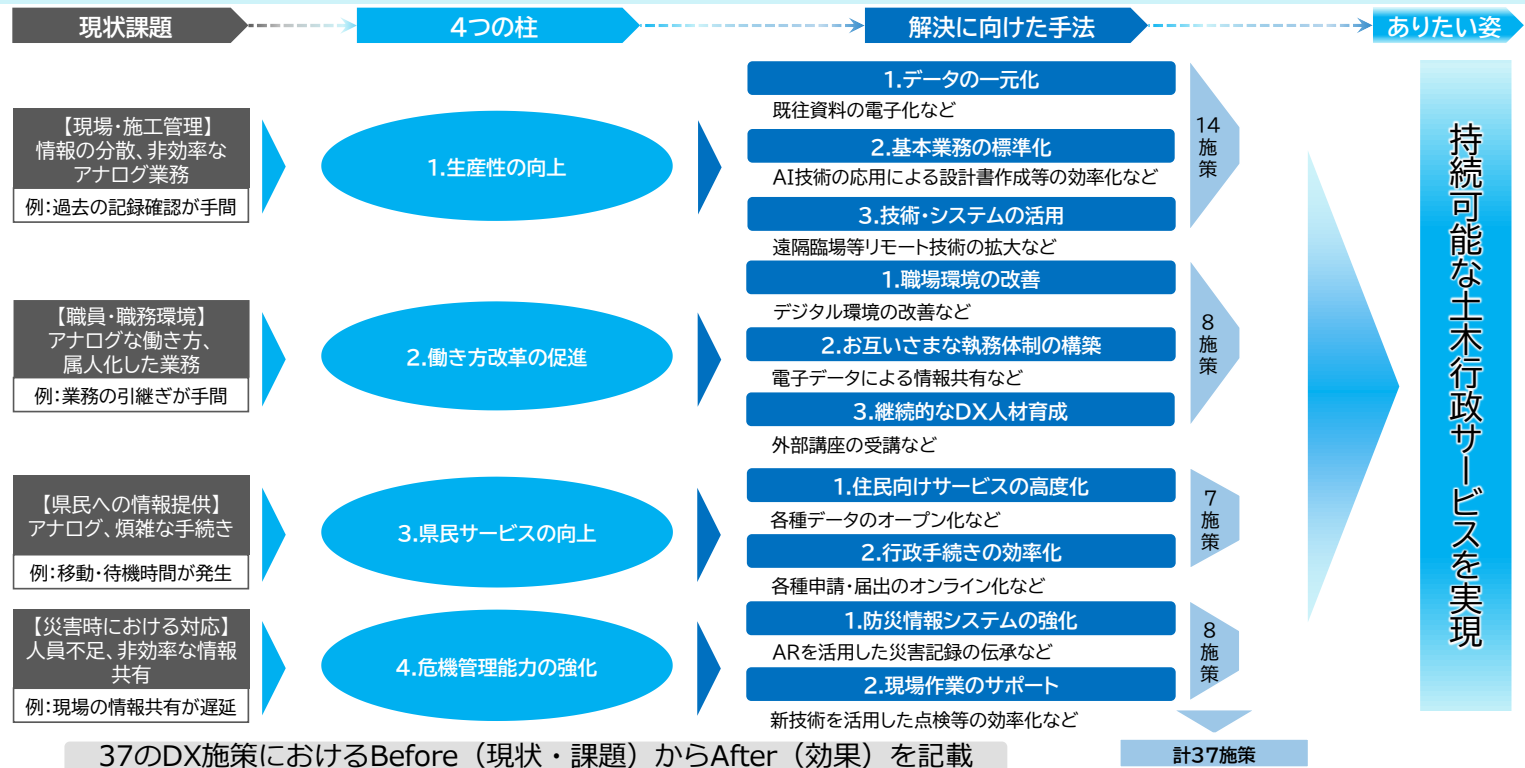


経緯 土木部の若手・中堅職員により、現状課題と20年後の働きたい環境（将来像）を検討する場として土木部DX推進WG（ワーキンググループ）を開催し、DXと働き方改革の視点も取り入れた「富山県土木部DX推進方針」を策定しました。

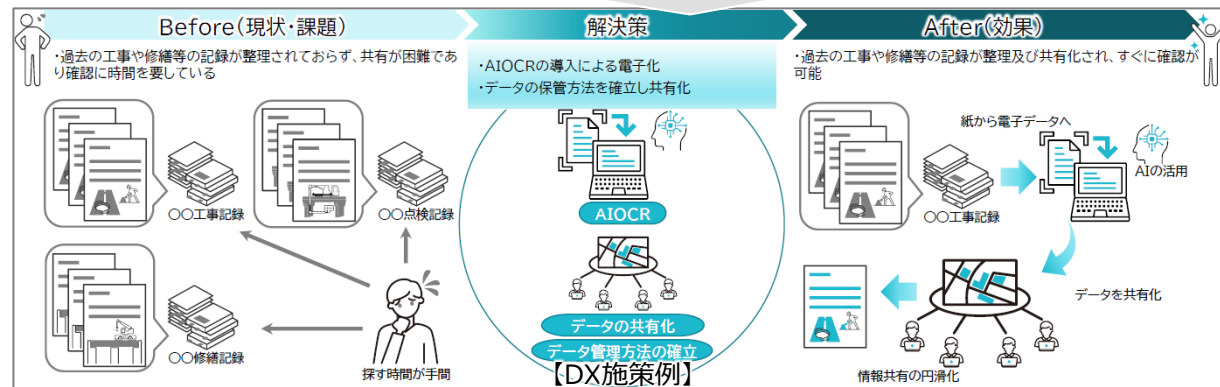


DX推進方針の基本方針

土木部における4つの現状課題に対して計10個の解決手法を抽出し、将来のありたい姿を「1.生産性の向上」「2.働き方改革の促進」「3.県民サービスの向上」「4.危機管理能力の強化」とし、これを富山県土木部DX推進方針の基本方針と定めます。



37のDX施策におけるBefore（現状・課題）からAfter（効果）を記載



37のDX施策をとりまとめた全体版はこちら



持続可能な土木行政サービスを実現